



2023.3.20 第136号

年金局・「隠退教師を支える運動」通信



秋山 徹 総幹事

教団総幹事として年金局の常任理事に加えられて4年間、教団年金局の歴史や現状に触れる機会が多く与えられました。それまであまり年金局の働きに深く関心を寄せて考える事もなく、信徒運動として熱い想いで献身の生涯を送った伝道者とその家族の老後のために、整った制度を設けてくださっていることを感謝しているばかりでした。アブラハムが主の命じるところ

祈りと信仰の業としての年金局の働き

日本基督教団総幹事 秋山 徹

に出て行くように言われた時、行き先も知らずに出て行ったように、老後はどうなるのかについてはあまり考えることなく献身し、過ごしてきました。遣わされた教会では謝恩日献金や年金掛け金などについて一通りの責任を果たしてはいましたが、どこか遠い事のようにあつたと思います。しかし、1977年に教団年金局が発足し、それまでの謝恩金制度が抜本的に改正され、また、それに先立って北海道の旭川豊岡教会の壮年会での話し合いの中から発展して全教団的な運動になった「隠退教師を支える会」も1978年に発足します。政府の国民年金制度や国民皆年

金制度の施行とも相まって、急速に年金制度の改正が行われてきました。これらの改正は私が1968年に教団教師となり、55年間の歩みの中で起こった事でした。掛金を負担できない教会や少額の謝儀によつて老後の生活設計が成り立たない教師があることは心が痛みますが、それでも、年金制度がこのように整っている教団であることは大いに感謝すべきことだと思えます。

教団年金は、教師と教会による掛け金3億3千万円、それに、謝恩日献金や隠退教師を支える運動からの献金、投資活動による資金、教団本会計からの資金、合計

年間約5億5千万円によって、4億4千万円の退職給付金と1700万円の業務運営費の支出によって運営され、さらに退職年金積立金の増額を図って、安定的な運営を図る制度となっています。発足当時は掛金と給付金のバランスは黒字でしたが、ここ10年来給付金が圧倒的に上回り、いわゆる「ワニの口」が広がっていました。近年少しづつ、その口も狭まってきています。しかし、その差額を埋める資金として「謝恩日献金」「隠退教師を支える運動・1000円献金」、投資活動などによってなんとか収支のバランスが取れているという状況です。この年金制度は単なる制度ではなく、主の愛に応えるあつい思いの籠った運動であり、祈りと信仰なしには起こり得ない営みであることがわかります。

各教区から選出された年金局理事の方々、「隠退教師を支える運動」の推進委員と推進員の方々が教区総会などで献金を訴え、各教会で隠退教師を支える運動のために祈り支えてくださる方々の奉仕があつてこそ、この運動が続けられてきました。しかし、この制度の発足以来、各教区で中心になって担ってきた方々が高齢になり、担い手の世代交代が進んでいます。これまでのように同じ熱量を持つて支えることができるか、全教会の教勢低下の現状においてこの制度をどこまで維持できるか、など厳しい課題を抱えています。

昨年12月「隠退教師を支える運動」の業の一つとして全国の運動参加者から、教団年金非受給者及びそのご遺族2百余名に「クリスマス祝金」（1万円増額して3万円）をお贈りしました。

毎年、感謝のお葉書をいただいておりますが、その一部をご紹介させていただきます。

☆1万円の増額は大変助かります。

☆今年もまた、今なお小さな者をお忘れなくお覚えいただき「クリスマスプレゼント」をお贈り賜りまして、誠に誠にありがとうございます。大いに慰められ、生きる力を与えられます。

「隠退教師を支える運動」推進委員会事務局から

の動向をどのように捉えるかに関わり、私もその中で多くのことを学ばせていただきました。

私は今年3月末をもって総幹事を退任すると共に年金局の理事も退任し、今度は隠退教師として年金受給者となる予定です、そのおかげで何とか干からびずに、隠退後も生涯を献身者として生活できそうです。その背後に潜む愛を知る者として、先祖の列に加えられるまで感謝の歩みを全うさせていたきたいと願っています。（あきやま・とおる）

☆クリスマスプレゼント、心からの感謝をもって受領いたしました。一人一人のことを心に留めて戴き、ありがとうございます。皆様方のお働きが祝されますよう祈っています。感謝。

☆もうすぐ白寿になります。クリスマスプレゼントとして全国の兄弟姉妹が献金下さったお恵みを、大切にに使わせて頂きます。有難うございます。

☆皆様の暖かい支えによって今がある事を嬉しく、心より感謝いたします。

☆主の御降誕をおよろこび申し上げます。この度は全国の教会・伝道所並びに信徒の皆様、有難く感謝していただきます。通常でない状況の中にあつて、皆様方のご苦心を拝察申し上げ、主の慰めと御導きとが、より強く働きますようにお祈り申し上げます。

☆今回は思いもかけず、皆様の貴いご献金である“プレゼント”を頂戴し、心から感謝申し上げます。大切に、心して使わせて頂きます。

☆思いがけなくクリスマスプレゼントをいただきまして、驚きと喜びが一緒に来まして。ありがとうございます。

☆厳しいご予算の只中から増額された大きなプレゼントをいただきました。ありがとうございます。この一年も礼拝を捧げる恵みに与ることができました。感謝の一年でした。

☆夫が天に召されてから間もなく2年になりますが、毎日涙しない日はありません。コロナ禍、高齢化社会と難しいことに直面しており、無力感にとらわれる日々ですが、このような応援をいただき、感謝で少しずつ勇気がわいてくる思いがいたします。ありがとうございました。

☆プレゼントの増額、感謝です。デイ・サービスのプログラムを楽しく利用、仲間達との交わりも超高齢になっても互いに楽しんでいきます。感謝の日々です。

☆年金では足りずに苦戦をしておりましてところ、本当にありがとうございます。

☆クリスマス祝金をお送り下さいましてどうもありがとうございます。主の恵みとして驚き感謝して、教会や隣人のために用いていきたいと思っております。

☆限られた年金のみでの生活に、この祝金はとても感謝です。妻とともに嬉しく思い、主に祈りました。

☆クリスマス祝金を感謝いたします。ありがとうございます。全国の教会・伝道所の皆様、尊い献金の中からの祝金、本当に感謝です。

☆医療費を3万円前後も毎月支払っているだけに、大変なご支援に只々心から感謝をいたしております。

☆クリスマスプレゼント、ありがとうございます。私も、教会・学校・ユニセフ・ウクライナのために小さなプレゼントができました。感謝いたします。



業 務 室 よ り

— 年金を受けている方へ — 年金給付のお知らせ

4月の定例給付のご案内をします。

送金内容 2022年度第4期分給付
(2023年1・2・3月分)

送金日 2023年4月10日(月)
期日に、ご指定の金融機関に入金されていない場合は、ご連絡ください。

次回送金 2023年7月10日(月)

連絡先・年金振込先の変更は、できる限り早めに、書状、Fax、e-mailの何れかで、年金局までお知らせください。

『2023年度現況届提出』のお願い

今月は「現況届」を提出いただく月です。同封のハガキをご確認ください。

①記載事項に変更がある場合は訂正をご記入ください。

②緊急連絡先を必ずご記入ください。

③2023年受給者名簿(9月発行)の掲載や配布についてのご意向をご記入ください。

以上をご確認の上、同封の「個人情報保護シール」を貼付し、ご投函ください。

投函期限 3月31日(金)

※このお知らせを受け取られましたら、直ちに記入・投函をお願いいたします。

【ご注意！】

このハガキの受け取りをもって、みなさまの現況の確認といたします。ご提出がない場合には、7月10日以降の送金を停止いたします。その後、確認ができ次第送金は再開いたしますので、期日を過ぎた場合も速やかにご郵送ください。

☆第42総会期第1回年金局理事会が、1月20日(金)に3年ぶりに教団会議室にて開かれました。北海道から九州までの理事・監事・総幹事、支区代表など27名が出席し、中川義幸理事が満場一致で理事長に再任されました。今総会期の理事・監事は以下の通りです。

第42総会期 年金局理事・監事			
		()内教区・支区	*印は信徒
理		卜部 康之	(北 海)
	*	遠藤 清賢	(奥 羽)
	*	高橋 嘉男	(東 北)
	*	金刺 英雄	(関 東)
		渡邊 義彦	(東 京)
	*	内堀 怜子	(西東京)
	*	沖田 忠子	(神奈川)
		兵藤 辰也	(東 海)
	*	辻 康	(中 部)
	*	谷本 聰子	(京 都)
	*	笥 正彦	(大 阪)
	*	小笠原 務	(兵 庫)
	*	宮脇 俊昭	(東中国)
	*	野口 菊義	(西中国)
	*	近藤 康夫	(四 国)
事	*	坂上 剛	(九 州)
		(未 定)	(沖 縄)
	*	中川 義幸	理事長
	*	簗田 安晴	
	*	高花 富夫	
		秋山 徹	総幹事
	監事	* 川添 裕一	監事
		七條 真明	監事
	支 区 代 表	* 小原 幸子	(東)
		川村 尚弘	(西 南)
		* 村上 貴久	(南)
		秀島 行雄	(北)
		* 奥山 盾夫	(千 葉)

☆2022年度末を迎えました。今年度も年金を約712名の先生・ご遺族の方々に合計約1億830万円、予定通りお送りすることができたことは、感謝です。

(村山めぐみ)

日 本 基 督 教 団 年 金 局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

Tel: 03(3202)2080 / Fax: 03(3202)2081

mail:nenkin@uccj.org

「隠退教師を支える運動」推進委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

Tel: 03(3232)8005 / Fax: 03(3202)2081

mail:sasae100@uccj.org